

落ちつくおむすび

寛
理
心

日本の主食である「お米」からできるおむすび。わたしは、おむすびが大好きです。な
ぜかというところ、おむすびを食べると心も温ま
るし、少し落ちつく感じがするからです。

おむすびには、たくさんのお感情が入っています。元気がなくなるとね、大きくなると

ね、など、お米を手でにぎることです。たくさん
の気持ちが入っています。

わたしの家のおむすびは、たくさんのお種類
があつてそれぞれに、たくさんのお気持ちが入
っています。

わたしはまだきれいに、にぎれなくてぐち
ぐちになつてしまいましたが、いつか大人
になつたら、きれいなおむすびをにぎりたい
です。

わたしが、おむすびが好き理由はもう一

「」は「字分として書く。書くことが変わるときは、行をあらためて、一字下げる。
話し言葉の「……」も「」も行をかえる。
詩は全行一字上げに書く。
たて書きのときは、漢数字を使う。

校長印	担任印	学年	年	組	行数
-----	-----	----	---	---	----

つあります。昔の日本が、戦争でなかなか食料がもらえなかつたとき、ようやくお米がもらえたときにおむすびをつくった、町中みんなが「笑顔」になつたのがもう一つの理由です。わたしは、この話を聞いて「おむすびは人と人をつなぐ大事な橋みたいな役わりをしているんだな」と思いました。

わたしは、おむすびについて一つなんでだろうということがあります。それは、「おむすびについているのりはなんの意味があるんだろう」ということです。わたしは予想をしてみました。おむすびには、たくさん人の感情が入っているから、それを包みこむためのものだという意味だと予想しました。

わたしは、このぎもんが分かるためにこれからたくさんさんの人のおむすびを、食べたり作ったりしたいと思つていきます。

これからも、日本のお米を守つていくために、おむすびのことをたくさん知つて、子どもなどの小さい子にどんどん受けついでい

、「()」は一字分として書く。書くことが変わるときは、行をあらためて、一字下げる。
話しことばの「……」も行をかえる。
詩は全行一字きげに書く。
たて書きのときは、漢数字を使う。

校長印		担任印		学年	年	組	行数
-----	--	-----	--	----	---	---	----

てほしいです。

、。「」()は一字分として書く。書くことがらが変わるときは、行をあらためて、一字下げる。
 話しことばの「……」も行をかえる。
 詩は全行一字さげに書く。
 たて書きのときは、漢数字を使う。